

(2) 土地利用

土地利用

- 将来都市構造の「ゾーン」ごとに都市機能の誘導や抑制などの方針を示します。

《基本的な方向性》

- 少子高齢化の進行、低成長経済の環境のもとで、既存社会資本を適切に維持管理しながら、既存ストックを有効に利活用することを原則とした持続可能な都市構造を目指します。
- 都市機能の集積を図るエリアとして、東は北上川、西は東北縦貫自動車道、南は北上市境、北は瀬川に囲まれた地区に都市的土地利用を優先的に誘導し、都市的活力や良好な住環境の維持を図ります。

商業・業務・居住複合ゾーン

総合サービス拠点などの形成を図るゾーン

- 既成市街地内の商業・業務地については、商業機能などの維持と総合的な都市機能の集積を図り、活気のある、賑わいと魅力を感じられる環境づくりを進めます。
- 都市基盤が整備されたものの都市的土地利用が行われていない低未利用地については、民間の秩序ある住宅地開発などを誘導します。
- 無秩序な市街地形成の抑制と優良な農地の保全に留意しながら、都市的土地利用を誘導します。
- 土地利用の実態と開発動向の状況により、必要に応じて用途地域の見直しを検討します。

農業地居住ゾーン及び

中山間地居住ゾーン

コミュニティ拠点の機能向上を図りつつも都市機能の誘導を抑制するゾーン

- 農地は、食糧の生産、環境保全、防災など多様な役割を果たしており、農業基盤の整備を進めながら保全を図ります。
- 用途地域が指定されていない白地地域の農業集落地域においては、農地と調和した住み良い集落環境づくりを進めます。
- 用途地域周辺の農地については、身近な自然環境や農業生産の場として、無秩序な農地転用を防止します。

工業・流通ゾーン

工業・流通拠点の形成を図るゾーン

- 既存工業団地への企業誘致を進めるとともに、団地の拡張や新たな産業団地整備を図り、県南都市圏の工業集積の一翼を担います。
- 高速交通網の要に位置する花巻流通業務団地への企業誘致を推進し、流通拠点の形成を図ります。

自然環境ゾーン

開発を抑制するゾーン

- 早池峰国定公園や花巻温泉郷県立自然公園は、優れた自然環境を有しており、観光資源として活用しながら自然環境の保全を図ります。
- 市東西に広がる山林は、林業などの産業と共存しながら、適切な維持管理による自然環境の保全を図るとともに、水源かん養機能や生態系保全機能などに配慮しながら、身近に自然と親しめる空間として活用を図ります。
- ダム周辺の水源地を保全するとともに、そこから流れる河川の水質保全に努めます。



早池峰国定公園



花巻温泉郷県立自然公園

■土地利用方針図

